

2019年度 看護部教育計画

教育目的	1. 看護部の理念・方針に基づき、看護を提供できるための実践能力の育成を行う 2. 専門職業人としての自律を促し、自己成長への支援を行う						
大目標	1. 看護の対象である人間を理解する方法を学び、思いやりのある良質の看護サービスを提供するための看護実践能力を養う 2. 専門職としての役割・継続性・人間関係を学び、医療チームの一員として他職種と連携・協働できる実践能力を高める 3. 看護観・人間観・倫理観を高め、人間としての自己実現を目指す 4. 医療を取り巻く社会環境の変化に対応できるような知識・技術・態度を身につける ＊済生会看護職員教育指針 中堅看護師研修ガイドライン：6つのカテゴリー ①元気になる ②人間性を高める ③専門性を高める ④指導力を高める ⑤マネジメント能力を高める ⑥済生会組織への帰属意識を高める						
技術	テーマ	対象 ラダーレベル ステップ	該当する カテゴリー	目的	目標	講師または担当	開催日
	医療安全	L1 ステップ2	② ③	医療安全の基本的な考え方が理解でき、患者を取り巻く環境に潜む危険予知能力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・誤薬・転倒・転落・チューブ管理について、事故防止を意識した行動がとれる ・インシデント報告の意義・必要性が理解できる 	医療安全対策室	6月6日
	院内研修 (手術部)	L1 ステップ2	③	研修部署の特殊性を理解し、手術中の看護を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・手術患者の入室から退室までの流れがわかり、術前・術後看護に活かすことができる ・侵襲性の高い看護技術と自部署で経験できない、看護技術が経験できる 	手術部	7月～
	院内研修 (地域連携室)	L2 ステップ3	③	地域との連携と退院調整看護師の役割を学ぶことで、退院支援の必要性・方法を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携室の業務について理解することができる ・地域連携室における、前方連携・後方連携（退院調整）を行う看護師の役割について理解することができる ・研修で学んだことを退院支援に活かすことができる 	地域連携室	9月～
	プリセプター スキルアップ	L2 ステップ3	②④⑥	プリセプターとしての役割を理解し実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・プリセプターとしての目標が明確にできる ・プリセプターとしての悩みや課題を共有し、効果的なプリセプターシップに役立てる事ができる 	新人教育委員会	7月9日 10月8日
	院内研修 (救急部)	L2 ステップ4	③	研修部署の特殊性を理解し、救急部の看護を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・救急患者の受け入れから入院までの流れがわかり、継続したチーム医療に生かすことができる ・自部署で経験できない看護技術が経験できる 	救急部	5月～7月
	メンバーシップ	L1 ステップ2	②④⑥	チームの一員としての役割や責任が果たせ、メンバーシップを発揮する	<ul style="list-style-type: none"> ・看護チームの一員としての自分を振り返る ・適切なコミュニケーションを図ることができる 	現任教育委員会	7月4日
	リーダーシップⅠ	L2 ステップ3	②④⑤⑥	リーダーについて学び、看護チーム内でのリーダーシップを発揮する	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のリーダーについて理解できる ・担当した役割を通してリーダーシップを発揮できる ・後輩の指導・育成ができる 	現任教育委員会	10月3日
	リーダーシップⅡ	L3 ステップ5	②④⑤⑥	リーダーとしての役割を認識し、チームの目標達成に向けリーダーシップを発揮する	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの問題を理解し問題解決に向けて、リーダーシップがとれる ・メンバーの動きに配慮し業務調整ができる ・課題達成のため、メンバーに働きかけ積極的に行動できる 	現任教育委員会	7月11日
	看護管理	L1 以上 ステップ2以上	④⑤⑥	看護専門職として必要な管理に関する基礎知識・技術・態度を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・済生会組織の帰属意識を高めることができる ・自らの看護、職業人としての自己を振り返り、責任ある行動をとることができる ・部署の目標達成に向けた行動をとることができる 	平田看護部長	11月5日 12月3日
	院内管理研修A	L4	②③④⑤⑥	看護専門職として、部署の看護サービス提供の諸問題を客観的に分析できる能力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・管理に関する知識・技術・態度を理解できる ・看護を提供する為の組織化並びにその運営の一端を担うことができる ・組織的看護サービス提供の諸問題を分析することができる 	キャリア開発委員会	2019年度
	院内管理研修B	L4	②③④⑤⑥	中間管理者として、部署の看護サービスの問題に気づき、自己の課題を見出す	<ul style="list-style-type: none"> ・中間管理者に求められる基本的責務を遂行する為に必要な知識・技術・態度を理解できる ・病院の理念並びに看護部の理念と整合性を図り、部署の目標を設定しその達成を目指して看護管理過程を展開する 	キャリア開発委員会	2020年度
	看護倫理	L1 以上 ステップ2以上	② ③	患者の立場と医療の倫理を常に考え、行動する能力の拡大を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・看護者の倫理綱領の内容が理解できる ・倫理的関わりに関する自己の課題を明確にできる 	看護倫理委員会	9月27日 10月21日 11月19日
	プリセプターシップ	L1～L2 ステップ2	②④⑥	プリセプターシップの役割・機能を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・プリセプターの役割について理解できる ・新人看護師を受け入れる準備ができる 	新人教育委員会	2月18日
	臨床実習指導	L2～L3 ステップ4	④ ⑤	臨床指導の役割・機能を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習指導者に求められる学生教育のあり方を、考えることができる ・学生指導が実践できる 	臨床指導委員会	5月24日
	教授法 次年度基礎看護技術説明	L2 ステップ4	④⑤	教授法を理解し、その技法を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を組み立てる上でのポイントがわかる ・後輩育成を通して自己の看護を振り返る 	現任教育委員会	10月18日
	プレゼンテーション	L2 以上 ステップ4以上	④	プレゼンテーションスキルを習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの目的・ポイントが理解できる ・効果的なプレゼンテーションが、実践できる 	看護研究委員会	9月11日
	基礎看護技術準備 3回	L3 ステップ5	②③④	専門領域における看護実践能力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ間の連携を図り、整合性を高めることができる ・他グループの参考になる点・相互にアドバイスをすることで、仲間意識を深め、チーム力を高めることができる ・練習を繰り返すことで、プレゼンテーションの精度を上げる 	現任教育委員会	6月28日 8月8日 9月20日
	基礎看護技術発表	L3 ステップ5	②③④	専門領域における実践的看護モデルになりうる知識・技術の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を持って看護技術の発表ができる ・看護実践の役割モデルとなる 	現任教育委員会	10月18日（リハ） 11月15日（発表）
	基礎看護技術講義	L3 ステップ6	②③④⑥	実践的看護の知識・技術を教授する	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を持って看護技術の教授ができる ・看護実践の役割モデルとなる 	新人教育委員会	6月3日 6月4日
	院外研修 (訪問看護)	L3 ステップ6	②③⑤⑥	在宅療養の現状、訪問看護についての理解と看護師としての役割を見出す	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内看護と地域看護との関連を知り、継続看護の必要性を理解することができる ・在宅へ移行する為に必要な情報を理解し、早期の退院支援に向けて、取り組むことができる ・社会資源の活用方法や多職種の役割機能及び連携のあり方を学ぶことができる 	訪問看護ステーション	9月～
	自己啓発研修	L3 ステップ6	②⑤⑥	院外での研修を通し、リーダーシップ・メンバーシップの再確認を行うと共に、管理的視点で物事を考える能力を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで院外研修の企画・運営を行う中で、自己の特性・他者の考えや価値観を共有し、自己を振り返り、人間性を高める事ができる ・中堅看護師としての、自己の課題を明確にできる ・グループ活動を通して、仲間意識を深める事ができる 	現任教育委員会	5月9日 (オリエンテーション) 9月

2019年度 看護部教育計画

	テーマ	対象	該当する カテゴリ	目的	目標	講師または担当	開催日
		ラダーレベル ステップ					
教育	がん化学療法	L1 以上	②③	看護を取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応できる能力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 専門的分野における知識・技術を身に付ける 研修で習得した知識・技術を実践することができる 	がん化学療法看護認定看護師	8月20日
	皮膚・排泄ケア					皮膚・排泄ケア認定看護師	7月26日
	救急看護					救急看護認定看護師	9月18日
	集中ケア					集中ケア認定看護師	10月29日
	認知症・せん妄ケア					認知症ケア	10月15日
						認知症ケア専門士	11月12日 12月13日 1月21日
	退院支援					主任会Aチーム	9月3日 10月4日
	看護必要度	④	医療・看護必要度と連動した看護記録として求められる 記録のあり方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 看護師ができる退院支援・看護介入が理解できる 入院時から退院後を見据えた退院支援ができる 必要度の評価の精度を上げることができる 必要度の評価と看護記録の整合性を高めることができる 	看護の質評価委員会	6月17日 7月30日 8月5日	
	PS	②⑥	医療従事者として接遇を習得する	<ul style="list-style-type: none"> 社会人として必要な言葉遣い・態度が習得できる 日々の看護に実践できる 	主任会Cチーム	12月19日 1月9日 2月12日	
	重症集中ケア（呼吸器ケア）	L4	③④⑤	自部署の管理者代行としての役割を遂行するために必要な能力を習得する	<ul style="list-style-type: none"> 自己目標を持ってキャリアアップすることができる 専門的知識・技術を持って看護を提供できる 後輩に指導・助言ができる 役割をはたすための具体的な方法が見出せる 後輩の役割モデルになることができる 	キャリア開発委員会	8月28日
皮膚・排泄ケア							
がん看護、終末期ケア	7月8日						
救急看護	6月19日						
感染管理							
糖尿病看護/透析看護							
摂食嚥下							
循環器疾患看護							
認知症看護							
研究	論述スキルの基礎1						L1 以上
	論述スキルの基礎2	看護研究の基礎知識を習得する	<ul style="list-style-type: none"> 実践分野における研究テーマに取り組むことができる 臨床の看護問題を実証的に検証できる 	3月17日			
	論述スキルの基礎3	看護研究の基礎知識を習得する	<ul style="list-style-type: none"> 実践分野における研究テーマに取り組むことができる 看護研究の計画書の書き方を理解し作成できる 	5月20日			
	論述スキルの基礎4	看護研究の基礎知識を習得する	研究に必要な統計について理解することができる				
	看護研究発表会	②③⑤⑥	看護研究を発表し情報を共有する	<ul style="list-style-type: none"> 研究の成果を発表することができる 研究の成果を応用できる 	2月		
看護観	看護観発表	L2 ステップ3	②⑥	自己の看護観を深める	<ul style="list-style-type: none"> 看護実践を振り返り、今後の自己の課題がわかる 他者と看護体験を共有することで、看護を深める 	現任教育委員会	2月6日
	看護観提出	L1・L2 ステップ2・4		自己の看護観を深める	看護実践を振り返り、今後の自己の課題がわかる		2月25日
	看護論文発表	L3 ステップ5		②③⑤⑥	自己の看護に関するテーマを見出し、看護論文としてまとめ、発表する		<ul style="list-style-type: none"> 看護実践を振り返り、今後の自己の課題がわかる 看護論文で明らかとなったことを、看護実践に還元する
ナースエイド研修	安全対策	ナースエイド全員		看護補助者業務が、安全に実施できる	<ul style="list-style-type: none"> 日常業務において、患者の安全に配慮することができる 院内感染防止に対して、環境整備の重要性を理解できる 	医療安全対策委員会	
	感染対策					感染対策委員会	
		ナースエイド全員		組織の一員として役割を理解し、行動できる		主任会Bチーム	
		ナースエイド全員		必要な看護技術を学び、看護師と共に看護援助することができる		主任会Bチーム	
	リフレッシュ	L1 以上	① ②	心と体がリフレッシュし、生き生きと働くことができる	<ul style="list-style-type: none"> 心の癒しや意識の向上を図り、肯定的に活動できる 専門職としての知識・技術・態度を高めることができる 	現任教育委員会	6月24日